電気魚のやつ

使い方の解説

まずデータがあります

eodam-triangle\_30\_30\_25\_30.dat みたいなの　これが電位計算のデータ

いっぱいある

これをまずgauss.py使ってガウシアンフィッティングします

出力で画像が出てきます

画像を見ながらINPUTってエクセルシートに数値を入力

C++にコピペできる入力の変化を出します

Doiron\_sinapusってやつの入力っぽい箇所にエクセルからコピー

実行します

Vs\_movedとか書いてるのが発火のラスタープロット

Gnuplotとかでプロットする

V\_voltみたいのは膜電位

発火データはISI and PSTH.pyで整理できるよー

ファイル名指定して実行しよー

発火数がわかるのでgraphってエクセルシートで整理

折れ線グラフがかければよい

これは各自てきとーでいいと思う

以上ながれ